

DAM

DAM 2026年上半期カラオケランキング発表

【DAM総合】1位はVaundy「怪獣の花唄」、Mrs. GREEN APPLEは3部門を制覇
【上半期デビューアーティスト楽曲】はモナキが1位！

株式会社第一興商（以下、当社）は、DAM 2026年上半期カラオケランキングとして【DAM総合】【アーティスト別】【上半期発売楽曲】【上半期アニメ主題歌（放送・配信・公開）】【上半期発売演歌・歌謡曲】【上半期デビューアーティスト楽曲】【上半期発売ボーイズグループ楽曲】【上半期発売ガールズグループ楽曲】の調査を実施しました。

【DAM総合】はVaundy「怪獣の花唄」が1位、Mrs. GREEN APPLEは【アーティスト別】、【上半期発売楽曲】、【上半期アニメ主題歌（放送・配信・公開）】の3部門で1位を獲得しました。

【上半期発売演歌・歌謡曲】1位は天童よしみ「旅路」、【上半期デビューアーティスト楽曲】1位はモナキ「ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど」、【上半期発売ボーイズグループ楽曲】1位はM!LK「爆裂愛してる」および【上半期発売ガールズグループ楽曲】1位は=LOVE「劇薬中毒」となりました。

【DAM総合 TOP50】

調査期間：2026年1月1日～6月20日

順位	曲名	アーティスト名	順位変動※
1	怪獣の花唄	Vaundy	↑(2)
2	好きすぎて滅！	M!LK	↑(圏外)
3	ダーリン	Mrs. GREEN APPLE	↑(9)

※ () 内は2025年年間ランキングの順位です。
2025年年間ランキング51位以下の曲は「圏外」と表記しています。
なお、バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

DAM 2026年上半期カラオケランキング（全8部門） 調査期間：2026年1月1日～6月20日

- 1.DAM総合 TOP50
- 2.アーティスト別 TOP20
- 3.上半期発売楽曲 TOP20
- 4.上半期アニメ主題歌（放送・配信・公開）TOP20
- 5.上半期発売演歌・歌謡曲 TOP20
- 6.上半期デビューアーティスト楽曲 TOP20
- 7.上半期発売ボーイズグループ楽曲 TOP20
- 8.上半期発売ガールズグループ楽曲 TOP20

当ランキングは、全国のカラオケ設置店舗・施設において高いシェアを持つDAMの歌唱度数を集計して算出しました。

■ DAM 2026年上半期カラオケランキング 調査期間：2026年1月1日～6月20日
1. 【DAM総合 TOP50】

順位	曲名	アーティスト名	順位変動※
1	怪獣の花唄	Vaundy	↑(2)
2	好きすぎて滅!	M!LK	↑(圏外)
3	ダーリン	Mrs. GREEN APPLE	↑(9)
4	IRIS OUT	米津玄師	↑(圏外)
5	残酷な天使のテーゼ	高橋洋子	↓(3)
6	マリーゴールド	あいみょん	↓(5)
7	サウダージ	ポルノグラフィティ	↓(4)
8	さよならエレジー	菅田将暉	↓(6)
9	ライラック	Mrs. GREEN APPLE	↓(1)
10	水平線	back number	↑(11)
11	ドライフラワー	優里	↓(7)
12	奏(かなで)	スキマスイッチ	↑(14)
13	高嶺の花子さん	back number	→(13)
14	小さな恋のうた	MONGOL800	↓(10)
15	革命道中	アイナ・ジ・エンド	↑(圏外)
16	チェリー	スピッツ	→(16)
17	愛のかたまり	KinKi Kids	↑(24)
18	アゲハ蝶	ポルノグラフィティ	↑(圏外)
19	点描の唄(feat.井上苑子)	Mrs. GREEN APPLE	↓(15)
20	恋人ごっこ	マカロニえんぴつ	↑(29)
21	3月9日	レミオロメン	↑(圏外)
22	シングルベッド	シャ乱Q	↓(18)
23	シルエット	KANA-BOON	↑(圏外)
24	怪獣	サカナクション	↑(43)
25	ひまわりの約束	秦 基博	↓(21)
26	とくベチュ、して	=LOVE	↑(圏外)
27	ケセラセラ	Mrs. GREEN APPLE	↓(12)
28	366日	HY	↓(17)
29	Story	AI	↓(26)
30	愛をこめて花束を	Superfly	↑(33)

順位	曲名	アーティスト名	順位変動※
31	丸の内サディスティック	椎名林檎	↓(22)
32	アイノカタチ feat.HIDE(GReeeeN)	MISIA	↑(39)
33	最後の雨	中西保志	↓(25)
34	カブトムシ	aiko	↑(37)
35	ハナミズキ	一青 窈	↓(28)
36	キセキ	GReeeeN	↓(34)
37	糸	中島みゆき	↓(31)
38	イケナイ太陽	ORANGE RANGE	↑(40)
39	世界が終るまでは…	WANDS	↓(32)
40	ハレンチ	ちゃんみな	↑(圏外)
41	倍倍FIGHT!	CANDY TUNE	↑(圏外)
42	Lemon	米津玄師	↓(35)
43	Soranji	Mrs. GREEN APPLE	↓(27)
44	タッチ	岩崎良美	↑(圏外)
45	チャンカパーナ	NEWS	↓(23)
46	花束	back number	↑(圏外)
47	大阪LOVER	DREAMS COME TRUE	↓(30)
48	ヒロイン	back number	↑(圏外)
49	Blue Jeans	HANA	↑(圏外)
50	I LOVE YOU	尾崎豊	↑(圏外)

※ () 内は2025年年間ランキングの順位です。
2025年年間ランキング51位以下の曲は「圏外」と表記しています。
なお、バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

◇【DAM総合 TOP50】解説

2026年上半年期カラオケランキングで最も歌われた曲は、Vaundy「怪獣の花唄」です。2020年5月の配信リリース以来、長期にわたり高い人気を維持しており、2023年および2024年の年間カラオケランキング【楽曲別】では2年連続で首位を獲得。さらに2025年年間ランキングでも2位にランクインするなど、安定した支持を集め続けています。リリースから6年以上が経過した現在も再びランキング首位に立ったことは、同曲が多くのユーザーから愛される“カラオケ定番曲”として広く浸透していることを示しています。

2位は、5人組ダンスボーカルグループM!LKの「好きすぎて滅！」です。「マジ ぎゅんぎゅんぎゅん 好きすぎて滅！」というインパクト抜群のフレーズとキャッチーな振り付けがSNSで大きな話題となり、TikTokを中心にダンス動画が急増。耳に残る中毒性の高いメロディーとコール&レスポンスを楽しめる構成が若年層を中心に支持され、みんなで歌って盛り上がる曲としてカラオケ利用へと波及しました。「MUSIC AWARDS JAPAN 2026」の共創カテゴリーにおけるカラオケ特別賞 カラオケ・オブ・ザ・イヤー powered by DAM & JOYSOUND J-pop部門で授賞されるなど、2026年上半年期を代表するカラオケヒットの一つとなりました。

3位につけたのは、2025年年間ランキングで9位のMrs. GREEN APPLE「ダーリン」です。NHK総合『Mrs. GREEN APPLE 18祭』のテーマソングとして書き下ろされた同曲は、全国の18歳世代から寄せられた想いや声をもとに制作され、“大切な人へのまっすぐな感情”を描いた歌詞と壮大なメロディーが大きな共感を呼びました。Mrs. GREEN APPLEの曲の中では比較的歌いやすいメロディーラインであることもカラオケで支持された要因と考えられ、2026年に入った現在も引き続き歌われています。

2. 【アーティスト別 TOP20】

順位	アーティスト名	順位変動 [※]
1	Mrs. GREEN APPLE	→(1)
2	back number	→(2)
3	米津玄師	→(3)
4	Vaundy	→(4)
5	あいみょん	→(5)
6	Official髭男dism	→(6)
7	RADWIMPS	↑(10)
8	Mr.Children	↑(11)
9	嵐	↑(17)
10	ポルノグラフィティ	↑(12)
11	M!LK	↑(圏外)
12	優里	↓(8)
13	サザンオールスターズ	↓(7)
14	スピッツ	↓(13)
15	マカロニえんぴつ	↓(14)
16	Ado	↓(9)
17	aiko	↓(16)
18	美空ひばり	↓(15)
19	サカナクション	↑(圏外)
20	ヨルシカ	↑(圏外)

※ () 内は2025年年間ランキングの順位です。
2025年年間ランキング21位以下のアーティストは「圏外」と表記しています。

◇ 【アーティスト別 TOP20】 解説

2026年上半期にDAMで最もリクエストされたアーティストはMrs. GREEN APPLEでした。2024年、2025年年間ランキングでは2年連続で首位を獲得しており、その勢いは今年も衰えることなく3年連続1位への期待が高まります。サカナクションが圏外から19位に浮上した背景には、【DAM総合】で「怪獣」が43位から24位へ急上昇したことが大きく影響しています。同曲は、TVアニメ『チ。 一地球の運動について一』のオープニング主題歌として認知されたほか、サカナクションの“再始動”を象徴する約3年ぶりの新曲として大きな話題を呼び、既存曲への再注目にもつながるなど、曲全体の底上げが見られました。

3. 【上半期発売楽曲 TOP20】

順位	曲名	アーティスト名
1	lulu.	Mrs. GREEN APPLE
2	爆裂愛してる	M!LK
3	AIZO	King Gnu
4	旅路	天童よしみ
5	セレナーデ	なとり
6	Again	Mr.Children
7	ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど	モナキ
8	花とサムライ	三山ひろし
9	ray 超かぐや姫！Version	かぐや(cv.夏吉ゆうこ)、月見ヤチヨ(cv.早見沙織)
10	僕のかawaii子ちゃん	MON7A
11	劇薬中毒	=LOVE
12	タッチ	稲葉浩志
13	駅	山川豊
14	恋の終わりの名古屋にひとり	水森かおり
15	Five	嵐
16	TEST ME	ちゃんみな
17	それからの港町	椎名佐千子
18	暖流桜	川中美幸
19	世界が終わりました	優里
20	BRAVE GROOVE	iLiFE!

※ バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

◇ 【上半期発売楽曲 TOP20】 解説

2026年上半期に発売された曲で最も歌われたのは、Mrs. GREEN APPLE「lulu.」でした。同曲は、自身の“フェーズ3”開幕後初のリリース作品として1月に配信され、新たなスタートを印象付ける1曲として反響を呼びました。

10位は18歳のシンガーソングライター・MON7Aの「僕のかawaii子ちゃん」です。MON7Aは、ABEMAの恋愛リアリティショー『今日、好きになりました。ハロン編』に出演した際に個性的なルックスやギターの弾き語りなどで関心を集め、その後本格的にアーティストとしてデビューしました。同曲は番組出演時の経験や当時片思いをしていた相手へのエピローグ的な余情が綴られたラブソングで、TikTokなどで大ブームとなりました。

演歌・歌謡曲は中高年層を中心にカラオケで楽しむユーザーが根強く、新曲がリリースされるたびに一定数歌唱される土壌があります。近年では新人・若手からベテラン勢まで積極的に話題づくりやSNS投稿が行われており、ジャンル全体を盛り上げる動きが活発化。【DAM総合】では演歌・歌謡曲のランクインはなかったものの、【上半期発売楽曲】ではTOP20のうち7曲を占め、存在感を見せる結果となりました。

4. 【上半期アニメ主題歌（放送・配信・公開）TOP20】

順位	曲名	アーティスト名	作品名
1	lulu.	Mrs. GREEN APPLE	葬送のフリーレン 第2期
2	AIZO	King Gnu	呪術廻戦 死滅回游 前編
3	セレナーデ	なとり	【推しの子】第3期
4	ray 超かぐや姫！ Version	かぐや(cv.夏吉ゆうこ)、月見ヤチヨ(cv.早見沙織)	『超かぐや姫！』
5	TEST ME	ちゃんみな	【推しの子】第3期
6	ラストダンスあなたと	MISIA	劇場版『名探偵コナン ハイウェイの墮天使』
7	Honto	sumika	映画 ドラえもん 新・のび太の海底鬼岩城
8	Cold Night	HANA	メダリスト 第2期
9	Make Me Wonder	Official髭男dism	ダーウィン事変
10	あぶく	ヨルシカ	LIAR GAME
11	よあけのうた	jo0ji	呪術廻戦 死滅回游 前編
12	人誑し / ひとたらし	桑田佳祐	あかね噺
13	燦然	SUPER BEAVER	新劇場版 銀魂 -吉原大炎上-
14	飛ぶ時	Vaundy	黄泉のツガイ
15	メガネを外して	乃紫	正反対な君と僕
16	月に向かって撃て	星街すいせい	真夜中ハートチューン
17	茜	ヨルシカ	劇場版『僕の心のヤバイやつ』
18	かすかなはな	キタニタツヤ feat. BABYMETAL	地獄楽 第二期
19	透明	Novelbright	氷の城壁
20	火種	キタニタツヤ	日本三國

※バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

◇ 【上半期アニメ主題歌（放送・配信・公開）TOP20】 解説

1位は【上半期発売楽曲】同様Mrs. GREEN APPLE「lulu.」です。アニメ『葬送のフリーレン』第2期のオープニングテーマに起用された同曲は、作品人気との相乗効果で幅広い層へ浸透しました。高音域の気持ち良さやサビの開放感がカラオケとの親和性も高く、“聴くだけでなく歌いたくなる曲”として多く歌われました。

2位はKing Gnu「AIZO」です。彼らは『劇場版 呪術廻戦 0』で主題歌とエンディングテーマを手掛けたほか、TVアニメ第2期「渋谷事変」のオープニングテーマも担当。今作のTVアニメ第3期「死滅回游 前編」で4曲目のタイアップとなり、まさに『呪術廻戦』には欠かせないバンドとなっています。

5. 【上半期発売演歌・歌謡曲 TOP20】

順位	曲名	アーティスト名
1	旅路	天童よしみ
2	ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど	モナキ
3	花とサムライ	三山ひろし
4	駅	山川豊
5	恋の終わりの名古屋にひとり	水森かおり
6	それからの港町	椎名佐千子
7	暖流桜	川中美幸
8	流されたって	楠木康平
9	かずら橋恋唄	永井裕子
10	十三ヶ月	青山新
11	志~こころざし~	福田こうへい
12	夢花火	大月みやこ
13	十勝で待ってる女です	藤原 浩
14	古都の雪	二見颯一
15	風神雷神	木村徹二
16	ほど酔い酒	氷川きよし
17	白糸 恋情歌	葵かを里
18	おんな越後路	谷島明世
19	こころの花道	朝花美穂
20	花影	天童よしみ

※ バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

◇ 【上半期発売演歌・歌謡曲 TOP20】 解説

1位は天童よしみ「旅路」です。「昭和かたぎ」、「昭和ごろ」と「昭和シリーズ」に続く新たなシリーズの幕開けとなる今作は「人生を“旅”にたとえ、ともに過ごした人との月日を思う」という主題のもと制作されました。本人が「皆さんが歌える歌、ぜひ歌ってほしい」と語るように、親しみやすく歌いやすいメロディーがカラオケでの支持につながりました。

2位はモナキ「ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど」です。TOP20の中で唯一今年デビューしたアーティストによるランクインとなり、その注目度の高さと人気の急上昇ぶりがうかがえます。

3位は三山ひろし「花とサムライ」です。生粋の演歌歌手でありながら『NHK紅白歌合戦』でけん玉のギネス世界記録に挑戦するなどチャレンジ精神旺盛な三山ひろしは、2026年幕開けの取り組みとして、ドラムを叩きながら歌う新たなスタイルを構築しました。自宅では電子ドラムを使って練習を積み、出先ではドラムスティックを持ち歩いて隙間時間にイメージトレーニングをするなど地道な努力を重ね、ミュージックビデオではもちろんのこと、歌番組やコンサートでも圧巻のパフォーマンスを披露。ノリの良いアップテンポなロック演歌の新曲は、場が盛り上がる曲としてカラオケでも重宝されています。

6. 【上半期デビューアーティスト楽曲 TOP20】

順位	曲名	アーティスト名
1	ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど	モナキ
2	あじさい坂	平山花羽
3	favorite song	ふみの
4	Star Wish	STARGLOW
5	USOTSUKI	STARGLOW
6	まだまだ	MADAMADA
7	Green Light	STARGLOW
8	素直でごめんね	DRAW♡ME
9	Wings	Ayane as 生見愛瑠
10	mosi mosi?	楽音
11	ホットライン	ふみの
12	Close	CIRRA
13	Blast Off	STARGLOW
14	OYJ	Sonsi
15	ねがい	モナキ
16	こんなもんじゃねえ	モナキ
17	よくあるはなし	ふみの
18	自慢の栃木	平山花羽
19	BABYBOO - NAZE on DREAM STAGE -	DREAM STAGE
20	Love Myself '26	STARGLOW

※ バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

◇ 【上半期デビューアーティスト楽曲 TOP20】 解説

1位に輝いたのはモナキのデビューシングル「ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど」です。スーパー銭湯アイドル・純烈のリーダーである酒井一圭がプロデュースした「セカンドチャンスオーディション」から誕生したモナキは、元会社員や元スーパー戦隊俳優などの経歴を持つ4人組歌謡グループで、デビュー前から高い関心が寄せられていました。同曲が4月に発表されると瞬く間に拡散され、SNSでの総再生数が15億回を超える大バズリを記録するなど（6月29日現在）華々しいデビューを飾り、“モナカマ”（ファンネーム）が急増化しています。“ほんまやで”“なんでやねん”“しらんけど”といった親しみやすい関西弁を盛り込んだキャッチーな歌詞や思わず口ずさみたくなるコール&レスポンス要素はカラオケとの相性も抜群で、多くのユーザーに歌われています。

TOP20のうち5曲を占めたSTARGLOWは、オーディション番組『THE LAST PIECE』で勝ち抜いたメンバーから結成された5人組ダンス&ボーカルグループで、今年1月に「Star Wish」（4位）のリリースをもって正式にデビューしました。7月には3rdシングルのお披露目を予定するなど精力的に活動しています。

7. 【上半期発売ボーイズグループ楽曲 TOP20】

順位	曲名	アーティスト名
1	爆裂愛してる	M!LK
2	ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど	モナキ
3	Five	嵐
4	オドロウゼ！	Snow Man
5	アイドルパワー	M!LK
6	ハニカミ	Hey! Say! JUMP
7	一秒	SixTONES
8	STARS	Snow Man
9	Star Wish	STARGLOW
10	BANG!!	Snow Man
11	Amazing!!!!!!	SixTONES
12	Rebellion	SixTONES
13	USOTSUKI	STARGLOW
14	Waltz for Lily	King & Prince
15	HARD WORK	なにわ男子
16	Get Up And Dance	MAZZEL
17	BE:FIRST ALL DAY	BE:FIRST
18	これでいいのだ！	WEST.
19	陰二モ日向二モ	Travis Japan
20	クレッシエンド	M!LK

※ バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

◇ 【上半期発売ボーイズグループ楽曲 TOP20】 解説

1位のM!LK「爆裂愛してる」は、【DAM総合】で2位の「好きすぎて滅！」と同時に両A面シングルとして発売されたメジャー8thシングルで、“ファンや日本へ向けた宇宙規模の愛”をコンセプトに制作されました。「Billboard JAPAN Hot 100」にて自身初の総合1位（2月25日発表）になりました。また、オリコン週間ストリーミングランキング（4月29日発表）において男性アーティスト史上5組目となる1・2位同一アーティスト独占を達成する快挙も成し遂げました。

2位は【上半期デビューアーティスト楽曲】で1位のモナキ「ほんまやで☆なんでやねん☆しらんけど」です。新進気鋭の歌謡ボーイズグループとして、ポップスの波にも埋もれず異彩を放っています。

5月31日の東京ドーム公演をもって活動を終了したアイドルグループ「嵐」のラストシングル「Five」が3位にランクインしました。メンバー5人の絆やファンへの感謝をテーマにした約5年5カ月ぶりの新曲は、多くのファンの心をつかみました。

8. 【上半期発売ガールズグループ楽曲 TOP20】

順位	曲名	アーティスト名
1	劇薬中毒	=LOVE
2	BRAVE GROOVE	iLiFE!
3	ALL IN	HANA
4	Cold Night	HANA
5	メロメラ	iLiFE!
6	Bad Girl	HANA
7	ぷりきゅきゅ	CUTIE STREET
8	ゆめみるプリマドンナ	CUTIE STREET
9	Bloom	HANA
10	ユメクライミング	iLiFE!
11	クリフハンガー	日向坂46
12	電話番号教えて！	≠JOY
13	えぶりで大好き記念日	きゅるりんってしてみた
14	SWEET STEP	SWEET STEADY
15	Sunday Morning	ILLIT
16	でいすこみゅーたん！	CUTIE STREET
17	君と目があったとき	FRUITS ZIPPER
18	ナイスだね	CUTIE STREET
19	BANG BANG	IVE
20	成長期なので。	FRUITS ZIPPER

※ バージョンが複数ある曲は、同一曲として集計しています。

◇ 【上半期発売ガールズグループ楽曲 TOP20】 解説

1位は指原莉乃がプロデュースするアイドルグループ=LOVEの「劇薬中毒」です。代々木アニメーション学院で本格的な声優教育を受けた女性10名で構成される=LOVEは、指原本人が手掛ける女性目線の歌詞とメンバーの表現力豊かな歌声が生み出す相乗効果が最大の魅力で、多くのファンを虜にしています。同曲は、恋愛にのめり込む危うさや葛藤を描いた刺激的な歌詞と一度聴くと耳に残るキャッチーなメロディーが特徴で、多様な感情を表現できることから、“歌ってみた”動画やカラオケなどで繰り返し歌われています。

4位の「Cold Night」はHANAにとって初のアニメタイアップで、【上半期アニメ主題歌（放送・配信・公開）】でも8位に位置付けました。それまでのアグレッシブなダンスナンバーから雰囲気ガラリと変え、彼女たちが紡ぐ等身大の葛藤や諦めない強さを描いた新境地の曲として各メディアで取り上げられました。HANAは3位・6位・9位と全4曲ランクインしており、デビュー2年目もなお人気の健在さを見せています。

■ 関連サイト

- ・ DAM公式サイト内2026年上半期カラオケランキングページ：
<https://www.clubdam.com/ranking/2026/firsthalf.html>
- ・ DAM公式サイト内2026年冬アニメ主題歌カラオケランキングページ：
https://www.clubdam.com/feature/standard/winter_anime_ranking_2026.html
- ・ DAM公式サイト内2025年年間カラオケランキングページ：
<https://www.clubdam.com/ranking/2025/>